

鉄道ピクトリアル

2012年11月号 Vol.62 No.11 通巻No.869

<特集> 中央本線

■表 紙 笹子トンネルと115系豊田車 進藤 匡

甲斐大和 2012-9-1

キヤノン EOS-1Ds Mark III EF70-200mmF4L IS 絞り f8 タイム1/250 ISO200

■グラフ

アルプス街道を行く (1~8ページ)

松田 巧・小林 拓・杉本孝之・金子 聰・加藤和毅
.....末石和寛・河原慶明・高木喜一・三島達夫・鈴江 隆
.....大久保広樹・早川昭文・井上英樹・安田孝哉

昭和40年冬 木曾・奈良井 (84~85ページ) 伊藤 昭
中央本線'70s (86~87ページ) 進藤 匡・小林 武

*

中央西線 1960年代の記録から 伊藤 昭・伊藤威信 33

中央本線・篠ノ井線 懐想 写真:堀江光雄ほか 36

中央本線の木造駅舎を訪ねて 中山 茂・進藤 匡 40

甲武鉄道の市街線点描 三宅 俊彦 42

中央線の115系を見る 構成: 進藤 匡 44

*

Pictorial Color Gallery 都市の朝へと 飯塚 卓治 81

[JR東海N700A/JR只見線の現況/JR北海道特急「ヌプリ」] 88~91
[号運転/東武鉄道8111F動態保存へほか]

トピック・フォト (各地・関東・中部・関西) 92

しなの鉄道リバイバル急行列車シリーズ第2弾「急行信州」運転
.....佐々木晶朗 100

ウラジオストクの鉄道近況 服部 朗宏 102

■本文

今月の話題: 中央本線 編集部 9

中央本線 歴史の興味 今田 保 10

飯田町駅ものがたり 三宅 俊彦 24

中央本線 夜行列車のあゆみ 寺本 光照 49

中央線の地域輸送を支えて45年余 中央本線115系電車の歩みと現状

..... 進藤 匡 64

*

鉄道の話題 編集部 32

阪急電鉄7000系の30年① 杉山 直哉 105

大正鉄道少年 萩原二郎さん 鉄道と趣味の記憶 関田 克孝 112

鉄道の情景を絵葉書で伝えた人達(1)鉄道新線開通の喜び

..... 白土 貞夫 116

[165系・169系電車 車歴表(2)] 作成: 平石大貴 118

書評(584)『昭和の地方私鉄 カメラハイク』 和久田康雄 125

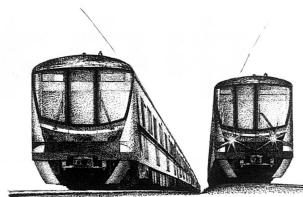
8月のメモ帳 126

読者短信・情報ファイル 127

後部車から 131

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット: 山本茂樹

今月の話題

中央本線

東京駅を起点に、甲府、塩尻、中津川を経て名古屋を終点とする路線が「中央本線」である。これはかつて国鉄時代の「日本国有鉄道路線名称」に定められた路線名および区間で、塩尻を境界として東側をJR東日本、西側をJR東海が所管している。今日においては、各社それぞれに路線名、起終点で示されており、「中央本線」という路線名は正式な名称ではないのが実態と言えるかも知れない。しかし、鉄道の成り立ちや輸送などの歴史や文化、その興味を記録していくうえでは、今後も旧国鉄の路線名称に則った視点で概観していくのが合理的と考えられる。そうしたことでも、本特集も「中央本線・東京一名古屋間」を主たる範疇として、構成しているものである。

とはいっても、中央本線は長年にわたり塩尻を境に分断された路線としての認識が強かった。輸送上は首都圏を起点とした東線、名古屋を起点とした西線と通称されてきた。そして、それが塩尻から篠ノ井線と一緒にした輸送により松本、長野方面を結ぶ幹線という位置づけを持ち、中央本線の特徴となってきた。

中部山岳地帯を縦断する中央本線の山間の路線は風光明媚で、昔も今も多くの旅行者から人気がある。特に東線側は首都圏からのアプローチもよく、鉄道興味として、かつてはスイッチバック停車場が点在するなど、山岳路線特有の設備が数多く、鉄道施設や歴史興味に事欠かない路線で、今日においてもきわめて高い魅力を有している。一方、残り少なくなりつつある115系電車が、中央東線を主体に活躍が続いている。その行く末も注目すべきところである。古くは71系電車以来、電車の普通列車で中央線に馴染み深いスカ色電車は、あとどれくらい見ることができるのだろうか。

TETSUDŌTOSHO KANKOKAI
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan